

Internet Society とその活動 —ISOC 日本支部の現状—

藤崎 智宏^{†1} 橘 俊男^{†2}

Internet Society (ISOC) は、インターネットの普及推進を目的に 1992 年に設立された非営利組織である。現在、”The Internet is for everyone” をビジョンに掲げ、国際的な活動を継続している。昨今、インターネットに関し、政治的、技術的に種々の課題が発生しており、ISOC としても、インターネットガバナンスへの積極的な関与、インターネットの継続的発展を支えるため、DNSSEC, IPv6 等各種技術の普及推進などを実施している。ISOC 日本支部も、2012 年 8 月に正式な支部として再登録され、活動を再開している。ISOC は、会員組織であり、誰でも参加可能である。ISOC の活動に参加、協力をお願いしたい。

Recent Activities of Internet Society and Internet Society Japan Chapter

TOMOHIRO FUJISAKI^{†1} TOSHIO TACHIBANA^{†2}

Internet Society (ISOC) is a non-profit international organization established in 1992. The purpose of this organization is healthy deployment of the Internet, and its vision is “The Internet is for everyone”. Recently there are many issues related the Internet including political and technical problems. ISOC has been tackling for these issues by involving the Internet governance issues, aggressively, promoting to deploy necessary technologies such as DNNSEC and IPv6. ISOC Japan chapter has rejuvenated in August 2012, and has been activating its activities. ISOC is member-based organization, and everyone can join and act as a member. Please join us and help our activities.

1. はじめに

研究ネットワークとして構築が始まったインターネットは社会のインフラストラクチャーとなり、研究者だけでなく企業活動、教育活動、個人の情報発信など、多くの目的のため、多くの人々が利用するネットワークとして、なお発展を続けている。しかしながら、インターネット地域的な発展、利用する人の拡大等により、技術的、政治的に多くの課題が発生している。

Internet Society (ISOC)は、インターネットの発展を進めるために、1992 年に設立された国際的非営利組織である。現在では、途上国におけるインターネットの普及推進のみでなく、インターネット上で発生している各種課題について、インターネットコミュニティの中心となって対応、解決に取り組んでいる。日本においても、ISOC の活動を支援するために、ISOC 日本支部が設立されており、活動を実施している。

本稿では、ISOC が実施している最近の活動を紹介する。

2. ISOC について

2.1 ISOC とは

ISOC は、1992 年に設立され、” The Internet is for

everyone.” というビジョンに沿って活動を実施している非営利組織であり、アメリカのワシントン DC とスイスのジュネーブに本部を置き、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、ラテンアメリカの各地域に事務所を開設している。ISOC は会員組織であり、誰でも参加が可能である。会員種別には個人会員と組織会員があり、個人会員については会費が無料である Global 会員と年会費の存在する Sustaining 会員が存在する。主な活動は、インターネット技術およびシステムに関する標準化、教育、ポリシーに関する課題や問題を解決あるいは議論する事である。

標準化について Internet Engineering Steering Group (IESG)、Internet Architecture Board (IAB)等のグループの活動を定義し、インターネット技術の標準化活動組織である Internet Engineering Task Force (IETF)、研究活動組織である Internet Research Task Force (IRTF)の運営に深く関わっている。

教育については、主にインターネットの普及の途上のある国における教育プログラムの実施、技術提供、ISOC に関連する IETF 等のコミュニティへ参加のための経済的な支援を実施している。同時に、それらの国でインターネットの普及を目的に活動する団体の支援も実施している。

ISOC には、地域支部というサポート組織が存在する。これらは ISOC の趣旨に賛同し、その目的の実現の為に地域毎に活動するグループであり、ISOC へ申請し承認されることで組成される。ISOC は地域支部に対し、ツールの提供、資金提供プログラムの実施等を通じて活動を支援し

^{†1} 日本電信電話株式会社/Nippon Telegraph and Telephone Corporation, ISOC 日本支部/ISOC Japan Chapter

^{†2} ISOC 日本支部/ISOC Japan Chapter

ている。

2.2 ISOC の構成

ISOC の意思決定は ISOC 理事会によって実施される (ISOC 理事は、定款によって 12 名以上、と規定されており、2012 年 8 月末現在、13 名の理事により構成されている)。ISOC の理事は、各国支部推薦、組織会員推薦、及び IETF からの推薦、もしくは選挙によって選出される。

理事会をサポートするために、ISOC の組織会員による諮問委員会(Advisory Committee)が組織されており、適宜、ISOC の活動や理事会に対して助言を実施する。

ISOC のグローバルな活動を支援するために、世界 91 カ国に ISOC 地域支部が設置されており、国単位でインターネットの普及推進、各種啓蒙等を実施している。

その他、ISOC の理念に賛同する約 65,000 人の個人会員に (2012 年 7 月現在) より、ISOC の活動が実施されている。

図 1 に、ISOC の現在の ISOC 支部、会員の状況を示す。

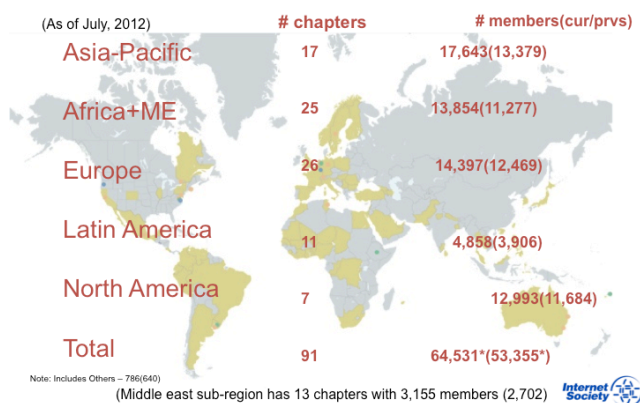


図 1 ISOC の会員数

(http://conference.apnic.net/_data/assets/pdf_file/0019/50824/Global-report-ISOC-Aug-28,-2012.pdf より抜粋)

2.3 ISOC 日本支部の状況

ISOC 日本支部 (ISOC-JP) は、ISOC が定義する地域支部の一つであり、活動の地域は日本国内、加入を想定しているのは日本に在住する ISOC 会員である。ISOC-JP は、ISOC で地域支部の制度が始まった当初、最初に設立された支部であった。しかしながら設立後しばらく後に活動が停滞してしまったことにより、ISOC から rejuvenation 状態 (close はされていないが再活性化が必要なステータス) と指定されていた。この状態を解消するため、2010 年から有志が再活性化活動を開始、ISOC に支部としての再申請を実施した。ISOC 本部による審議の結果、2012 年 8 月に再び地域支部支部として認定された。

ISOC-JP は、ISOC が目指す「次世代リーダの育成」を日本において実現するために国内への情報の提供や様々な領域への働きかけを行うこと、日本に多く存在するインター

ネット関連団体の活動を ISOC に関わる各種団体と日本近隣の諸国に存在する各国支部に広く伝えていくことを活動内容として掲げている。ISOC の活動を日本国内に広く伝達していく事も活動内容の一つである。

3. ISOC の活動

3.1 ISOC の活動領域

ISOC は、ポリシー策定、技術開発、技術の普及推進の 3 つの領域の活動を実施している。図 2 に、ISOC の活動範囲を示す。

How We Work

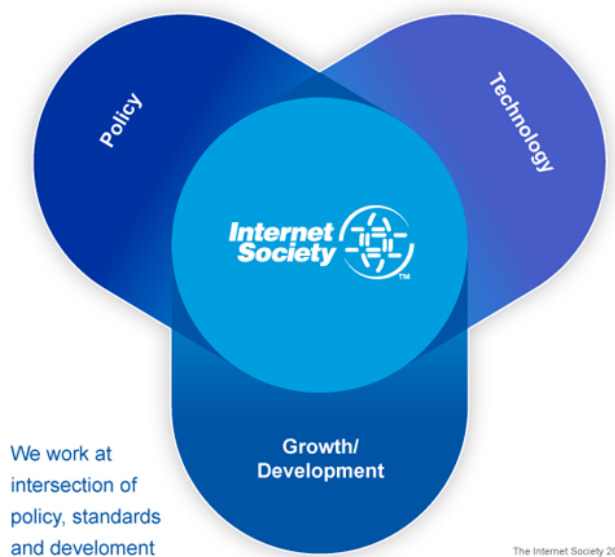


図 2 ISOC の活動範囲

(<http://www.internetsociety.org/what-we-do/how-we-work> より抜粋)

3.2 ISOC の活動

最近の主な ISOC 及び、ISOC 地域支部活動を以下に示す。

1. IPv6 普及推進イベントの開催

World IPv6 Day (2011 年), World IPv6 Launch (2012 年) の各イベントを主催、インターネットの継続的な発展に必要なだとされている IPv6 の普及推進を実施。各国においても、30 以上の地域支部が、2012 年 6 月 6 日 (World IPv6 Launch 開始日) 付近に種々のプロモーションイベントを開催。

2. 国際電気通信規則 (ITR) 改正への対応

国際的な、条約級の規則である ITR におけるインターネットへの制約を定義する動きに対し、インターネットコミュニティを代表してロビー活動、問題の広報、地域支部を通じた各国の情報収集などの対応を実施している 1)。

3. 20 周年記念 Global INET イベント開催と、インター

ネット殿堂の表彰

ISOC の設立 20 周年にあわせ、インターネットの発展に多大な貢献をした人々に対し、「インターネット殿堂」表彰を実施 2)。また Global INET にあわせ、地域支部の活動支援イベントが実施された。

4. おわりに

昨今、国際的にインターネットに関する種々の問題が発生しており、インターネットを国連の管理下に置くこと、国家によるインターネットの管理を強化すること等の主張がされている。ISOC は、オープンなインターネットの維持、継続的なインターネットの発展、インターネット上でのイノベーションの継続を目的に、”The Internet is for everyone” をキーワードに活動を行っている。

今後、ISOC 日本支部として、ISOC の理念の普及推進、及び、活動状況の広報を積極的に進めていく予定である。ISOC の活動に興味をお持ちの方は、是非ともご協力頂きたい。ISOC の Web サイト 3) より、会員登録が可能となっている。

参考文献

- 1) ISOC が提供している ITR 関連情報
<http://www.internetsociety.org/wcit>
- 2) インターネット殿堂に関する情報
<http://www.internethalloffame.org/>
- 3) ISOC Web ページ
<http://www.internetsociety.org/>